

心理部門



心理部門では、主に入院治療中のお子さんとそのご家族の必要に応じて、心理学の理論や知識、技法を用いて専門的援助を行っています。

それぞれの相談内容に応じて、心理検査および相談面接、心理療法（遊戯療法、トラウマ治療など）、心理教育（病気についての知識を提供し、治療に前向きに取り組んでもらうための教育的支援）、集団精神療法（グループで課題に取り組み、自己の気づきを促したり、新たな行動パターンを学習したりする）などを通して援助を行っています。

また、お子さんが病棟だけでなく、学校生活やご家庭においてもよりよく過ごせることが大切であると考えています。学校生活への支援においては、主に静岡県立天竜特別支援学校や原籍校（自分の学校）と連携を図っています。ご家族への支援においては、お子さんへの家庭療育の方法について学んでいただく『りゅうりゅうタイム』や、家族関係や親子関係の諸問題へのご相談など、ご家族に対しても心理的援助を行っています。

業務内容



<心理検査>

心理検査には、「知能検査」「発達検査」「性格検査」などがあり、種々の検査を組み合わせて実施する場合があります。心理検査の結果を踏まえて、それぞれのお子さんにあった支援を考えていきます。また、心理検査の結果だけでなく、お子さんの病棟でのご様子、周囲との関わり方のご様子も含めて、お子さんの心理的特徴について理解を深めています。

心理検査の結果については、ご家族に文書にしてお渡ししております。個別にご家族にご説明させていただき、学習場面や日常生活における支援方法についてお話ししています。場合によっては、お子さん自身にも理解度や発達に合わせて、心理検査の結果を文書にてご説明し、自己理解を促すきっかけとなるように働きかけています。

<心理療法・心理教育>

お子さんの年齢や課題に応じて、対話を通じた「心理療法」や、遊びを通じた「遊戯療法」を行っております。必要に応じて、いじめやトラウマ体験に対してのトラウマ治療なども行っています。

また、心理教育は、お子さんに病気の知識を分かりやすく説明するなど、自分のことを正しく理解し、治療に前向きに取り組むことを目的として適宜実施しています。

＜集団精神療法＞

数名でグループを作り、対人関係の上手な築き方、イライラなど感情の理解、ゲームやインターネットとうまく付き合う方法などのテーマで行っています。グループで学ぶことを通じて、課題への対処だけではなく、他者に受け入れられた体験を得ることができます。

＜ご家族への支援＞

主に、お子さんへの対応を学んでいただく講座を『りゅうりゅうタイム』と名付け、実施しています。状況によって、数名のグループで行う場合と、個別に行う場合があります。

☆いずれのプログラムも、治療の一環として行われています。各主治医と相談しながら行っていますので、まずは主治医にお問い合わせください。

